

予防救急

～季節ごとの予防すべき症例等について～

3月を迎え、暦の上では春となりました。

日本には四季があり、季節ごとに救急搬送される症例が増減します。

例えば、今季である春には冬眠から目覚めたヘビに噛まれたり、虫に刺されたりといった救急搬送が増加する傾向にあります。

季節ごとの症例を知ること、無用なケガ等をしないように予防しましょう。



春ごろ (3月～6月)

- ・ハチ、ヘビ、ムカデなどによる刺咬傷
- ・アナフィラキシー



夏ごろ (7月～9月)

- ・熱中症
- ・登山時の遭難、滑落



秋ごろ (10月～11月)

- ・キノコ類、アニサキスなどによる食中毒
- ・冬眠前の野生動物による咬傷



冬ごろ (12月～2月)

- ・火災によるやけど、一酸化炭素中毒
- ・もち等の食べ物による窒息



事前に知っておきたい

救急車が「来るまで」と「来てから」

不意の事故や急病などにより、救急車を呼ぶことがあるかもしれません。しかし、突然のことに気が動転して準備が足りなかったり、搬送されてからどうなるのか不安になったりする方もいます。

そこで今回は、救急車が「来るまで」と「来てから」をご紹介します。



救急車が「来るまで」

① 119番で伝えること

- ・場所 ・救急車が必要な理由
- ・患者の氏名 ・年齢 ・生年月日
- ・かかったことのある病気
- ・かかりつけの病院

② 持っていく物の準備

- ・保険証 ・お薬手帳 ・マスク
- ※お薬手帳が無い場合、飲んでる薬

③ 家を出るまでに確認しておくこと

- ・かかりつけ病院のこと
- ・火の元の消し忘れ



救急車が「来てから」

- ① 救急車へ収容
- ② 救急車で血圧・体温・心電図等を測定し、からだの状態を観察
- ③ 観察結果に応じた医療機関へ搬送
(病院からの受け入れ許可後に搬送)



※ 119番通報から到着までの
平均所要時間：49.3分

「飯塚地区消防本部 令和5年救急救助統計」より

緊急時は

☎119

救急車？ 病院？ 迷ったら

☺ #7119

に電話してください。

年中無休